

校内研修計画

甲州市立塩山南小学校

1 学校課題

国語科においては、「読むこと」領域や漢字の読み書きに、社会科においては、資料の読み取りと活用能力に課題が認められる。生活実態については、就寝時刻や起床時刻が遅いことと、メディアへの接触時間が長いこと、さらには家庭学習が定着していないことに課題がある。

対人関係や集団行動において、ルールを定着させ相手と上手にコミュニケーションをとることができるよう、エンカウンターやソーシャルスキルなど関わり合いを大切にした取組を行うことにより、少しずつではあるが、互いを認め合い協力し合う姿が見られるようになってきた。またQ-U検査の結果を学年で分析し、アタックシートをもとにその後の活動に生かすことで、個々の持っている力を発揮できるようになるなど、「学び合う学級集団」が徐々にではあるが育ってきている。

学力面、健康面、ものの見方や考え方、家庭での生活習慣にはかなりの個人差があり、一斉指導における集中力の持続や、姿勢、学習規律の定着などに大きな差があり、ルールの確立には課題がある。

好奇心が旺盛で、学習に意欲的に取り組む児童が多いが、近年、発達障害児及びその傾向児童が増加し、学習指導及び生徒指導における問題も多くなってきている。また、教科指導においては個に応じた指導（個性化、個別化）を心がけ、取組を進めているが、現実には時間的にも人的にもゆとりが無く十分な指導には至っていない。

2 研究主題

「確かな学力の定着を目指した授業改善の工夫」（2年次）

～ 学ぶ楽しさや分かる喜びを味わえる効果的なRPDCAサイクルを通して ～

3 主題設定の理由

学習指導要領では、「知識基盤社会」を生き抜く「確かな学力」を、すべての児童生徒に確実に身に付けさせることが求められている。当然教える内容が増えているということだが、現在の教育課程の中で、定められた学習内容をすべて身に付けさせるには、学級集団の状態に応じた授業展開を工夫し、「どの子にもわかる授業」を仕組んでいかなければならない。昨年度から「授業改善プラン実践事業」の研究指定を受け、県や市からの授業改善プランの活用・実践を通して、本校独自の授業改善プランを作成し、児童の確かな学力の定着が研究の大きな柱となる。さらに、作成した「授業改善プラン」を活用し、研究成果の普及を通して、近隣小中学校の授業改善を促し、児童生徒の確かな学力の定着と向上を図っていくことが求められている。そこで、授業の導入では「見通し」を持たせるため、学習のめあてをいつでも意識できるようにし、「振り返り」では何が分かったのか、何が分からなかったのか、またそれはなぜかなど、構造化を意識した授業過程を仕組んだり、学習形態の工夫をしたりすることにより、確かな学力に迫りたいと考える。

また、今までの研究の過程で、「どの子にもわかる授業」を効果的に進めるためには、根底に集団づくり（学習規律・認め合う雰囲気）が必要であることが確認され、学習規律の共通確認やQ-U検査を活用した集団づくりに取り組んできた。今年度も学習規律をさらに徹底していく中で、Q-U検査を活用し、引き続きK13法でクラスの実態をブロックごと分析していきたい。そして学級集団や個々の児童の実態を把握しながら、課題やその対応策について研究・実践を行い、授業展開の工夫や集中して学習に取り組める学級集団づくりを目指していきたいと考え研究主題を設定した。

4 研究方法及び具体的な取り組み内容

- (1) 児童の教科及び生活習慣や学習習慣の状況把握と改善すべき課題の整理
- (2) チャレンジタイムの取組（8：20～8：35）の15分間をしっかりと確保する。
- (3) 授業改善プランを取り入れたRPDCAサイクルの確立
- (4) 家庭での学習のあり方・保護者との連携
- (5) 学習規律や授業ルールの確認（環境面含む）
- (6) 「見通し」と「振り返り」、「言語活動の充実」を意識した授業の構造化と実践

年間校内研修計画

研究主任 小椋 規雄

時期 (月)	研究内容, 成果の公開, 研究成果の検証等の予定	T C
4	<ul style="list-style-type: none"> 研究課題, 研究内容, 研究組織, 研究計画の検討 昨年度の学力調査の結果の分析, 課題の把握 学力調査, 学習状況調査の実施 	
5	<ul style="list-style-type: none"> 県学力調査採点, 結果の分析 学校課題の把握 生活習慣実態把握に向けてアンケートの調査, 今年度の方向性の確認 Q-U検査1回目の分析 (K-13法) 学習会 (県教委指導主事・事務所・市教委指導主事招聘) 主に, 言語活動の充実に向けた取組について 単元を貫く言語活動について 「書くこと」領域の改善のポイントについて 社会科における授業改善のポイントについて 研究実施計画の作成 授業改善プランの見直し・修正, 社会科改善プランの作成 	○
6	<ul style="list-style-type: none"> Q-U検査1回目の分析 (K-13法) 県学力調査の分析及び改善プランの付加修正 理論研究・教材研究・授業公開に向けたとりくみ 一人1実践 (授業公開) に向けた指導案作成《各個人》 	
7	<ul style="list-style-type: none"> 授業実践・授業改善 一人1実践 (授業公開) に向けた指導案作成《各個人》 「全国学力学習状況調査」の結果からの考察・本校の課題検討 	
8	<ul style="list-style-type: none"> 「全国学力学習状況調査」の結果からの考察・本校の課題検討 授業改善プラン見直し, 修正 	
9	<ul style="list-style-type: none"> 授業改善プラン見直し, 修正 学力向上フォーラムへ向けて 	
10	<ul style="list-style-type: none"> 指導案検討・授業公開Ⅰ (国語科における一人1実践授業公開) 学力向上フォーラム2015 	○
11	<ul style="list-style-type: none"> 指導案検討・授業公開Ⅱ (社会科における一人1実践授業公開) 	○
12	<ul style="list-style-type: none"> 授業のまとめ 授業改善プランの見直し 	
1	<ul style="list-style-type: none"> 研究のまとめ (成果・課題) 授業改善 	
2	<ul style="list-style-type: none"> CRT学力調査 	
3	<ul style="list-style-type: none"> 研究のまとめ (今年度の検証・CRT分析) 成果と課題の把握, 来年度の方向性等 	